

2024 年 湯原温泉「八景」食事会

右城 猛

はじめに

高野広茂・いくよご夫妻から、「岡崎誠也ご夫妻を湯原温泉の八景で慰労したい。右城さんたちも一緒に行きませんか。5月11日から1泊2日の予定です」と声を掛けていただいた。

岡崎誠也氏は高知市職員として28年、市長として5期20年、合計すると48年間高知市の発展に尽力されてこられた。第一コンサルタンツも社員の福利厚生棟の建築では何かとお力添えをいただいている。

家内は神戸に行く予定が入っていたので、私一人が同行させていただくことにした。

岡豊苑

岡豊苑を11時に出発する予定になっていたのに15分前に行く。既に高野ご夫妻、岡崎ご夫妻も来られていた。

今回も高野広茂会長が苑内を案内してくれた。来る度に手が加えられ苑内が変わっている。近年は防災訓練の拠点になるように整備をされており、非常食用の山野草がいろいろと植えられていた。先日は高知銀行の行員の方が訓練に来られ、山野草を天ぷらにして振る舞ったということであった。

ここには地下1200メートルまでボーリングをして温泉が掘られている。数年間使用していなかったが、最近入浴ができるように再整備をしたという説明であった。

温泉施設の入り口には、橋本大二郎・元高知県知事の直筆で「ホーライ湯」とかかれた看板が掛けられている。中には岩風呂と檜風呂の二つの大浴場がある。



岡豊苑の「ホーライ湯」



ホーライ湯の岩風呂

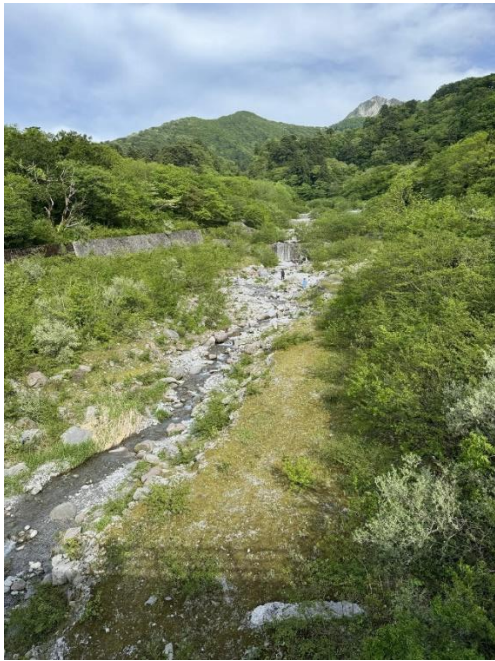
大山

土電ハイヤーのワゴン車で岡豊苑を11時30分に出発。豊浜サービスエリアで昼食を摂る。

湯原温泉に向かう途中、大山（標高1729m）に登る。珍しく雲がなく、車窓から見える大山は美しい。

宿泊施設が何軒もあり、ゲレンデも数カ所見られた。ゲレンデにはそれぞれロープリフトが整備されていた。シーズン中は多くのスキー客で賑わうのだろう。

県道158号線が佐陀川を渡る地点に大山寺橋が架かっていた。佐陀川には複数の砂防堰堤が階段状に整備され、河原には観光客の姿も見えた。大山寺橋の右岸側にはモンベル大山店があり、営業されていた。



佐陀川の砂防堰堤



大山寺橋とモンベル大山店

湯原温泉「八景」

八景には17時30分に到着した。八景に泊まるのは3回目である。いずれも高野ご夫妻と一緒にいる。

ロビーから外を眺めると、河原の露天風呂で入浴している男性の姿が見えた。

家内と一緒に泊まったときは3室ある展望風呂付きバリアフリースイーツであったが、今回は露天風呂付き和室(10帖)であった。それでも一人には贅沢である。

地下の大浴場で汗を流した後、18時30分より1階で岡崎誠也ご夫妻を囲んで慰労会。

20年間の市長生活で最も印象に残っているのは、カルポートの建設と高知市庁舎の建て替えで、大きな英断をされたとのことであった。

食事中に高知県産業教育振興会の西山彰一会長から電話が入った。電話に出ると包國理事長に代わられた。「定時総会が終わり二次会に来ているところです」とのこと。私は副会長をしており出席すると連絡してあった。私の予定表には定時総会が1週間後の15日になっていた。またしてもちょんぼをしてしまった。



湯原温泉の露天風呂



露天風呂付き和室



内風呂の露天風呂



岡崎誠也ご夫妻を囲んで慰労会



幻の高級魚キジハタ(アコウ)、岩牡蠣などの刺身



八景の女将、パキスタン出身の従業員たちと記念撮影

大根島の由志園

由志園には平成 20(2008)年 5 月に家内と二人で、令和 3(2021)年 4 月と令和 5(2023)年 11 月には高野広茂・いくよご夫妻と一緒に訪れている。今回は 4 度目。生憎の雨であったが、日本庭園の苔や庭園の木々の新緑を堪能することができた。

由志園は、初代園主・門脇栄が昭和 42(1967)年に 1 台のブルドーザーで造園に着手したことから始まった。昭和 50(1975)年に築山式の日本庭園を開園。その後造成を重ね、現在では約 1 万 2 千坪 (4 万平米) の池泉廻遊式日本庭園となり、入園者は年間 35 万人を数える。

庭園には 400 本を超える松の木がある。庭園の維持管理には 5 人の庭師と数人の作業員が常駐しておこなっているようである。

12 時 20 分より食事処「紅葉」で昼食。朝食が 8 時と遅かったこと、昼食前にあんみつを食べていたことから空腹感はなかった。そこに懐石料理である。最後に出されたご飯はほとんど食べることができなかった。



由志園の庭園



庭園を眺めながら「あんみつ」



由志園の庭園をバックに記念撮影



ツバメの巣

豊浜サービスエリアのツバメの巣

13時50分に由志園を出発。境港市の「大漁市場なかうら」で土産物を買って高知へ帰る。

途中、豊浜サービスエリアでトイレ休憩。トイレの外壁にツバメの巣が3個設置してあった。いずれも人工巣であった。

ネットで検索すると、これと同じ巣が小川美奈子氏のホームページ「リトルミーナ」で紹介されており、下記のメッセージがあった。

「NPO 法人バードリサーチの神山和夫先生と共に、全国に人工巣を付け、ツバメを守り、増やしていく活動をしています。現在(2024年)までに300個近くの人工巣が設置されたと思われます。より多くの人工巣を各地に付けてツバメの営巣場所を残していくために、この活動に賛同いただける方に私が制作した人工巣を有償配布(4000円+送料)しています」

岡豊苑着は19時、自宅に帰り着いたのは19時15分であった。

あとがき

高野ご夫妻と私たちが一緒に旅をしたのは、平成30(2018)年5月に3泊4日で大連に行ったのが最初であった。高知丸高が採用する中国人実習生を選抜するのが目的であった。南満州鉄道があった大連市内、日露戦争の激戦地になった旅順などを観光することができた。

令和3(2021)年4月には、高知丸高が建設工事に関わった広島空港大橋、そして由志園を見物し、高野ご夫婦常宿の湯原温泉「八景」に宿泊した。

3度目は令和4(2022)年5月に祖谷温泉「ホテル秘境の湯」に宿泊し、かずら橋、定福寺を観光した。

9月には、私の肺癌の快気祝いを兼ねて東洋町の「農家民泊野根家」に宿泊した。

5度目は令和5(2023)年3月に湯村温泉「井筒屋」で泊まり、長楽寺、鳥取砂丘「砂の美術館」、鳥取港海鮮市場「かろいち」を観光した。

6度目は令和5(2023)年11月11日から2泊3日で山陰旅行をした。初日は玉造温泉の佳翠苑皆美で泊まり翌日、出雲大社参拝、島根ワイナリー、由志園、境港の大漁市場なかうら、お菓子の壽城を巡って湯原温泉八景で泊。最終日は真庭市の勝山町並み保存地区を観光して高知へ帰ってきた。

今回が7度目になる。湯原温泉の八景に泊まり、大山と大根島の由志園を観光してきた。

高野広茂会長は今年の2月に満87歳、喜寿を迎えられた。この歳になっても寸暇を惜しんで青年のように夢を追っかけておられる。また、高野広茂ご夫妻ほど利他の気持ちを持ち、それを実践されている人はいない。成功すべくして成功した人物である。少しでも見習わねばと改めて思った旅であった。

2024年5月13日